



辻 の 風 景 三 十

まぜき ぼさつ 間関峠の地蔵菩薩 (伊深町)

県道 63 号線沿い、伊深町と関市境の間関峠にある三基の石仏の一つに「寛文拾一辛亥年（1671）五月廿日濃州加茂郡上切村」の銘を持つ地蔵菩薩があります。現在の道は昔の面影を残していませんが、当時からの辺りは富野や下之保（ともに関市）へ抜ける峠道であったと思われます。

村境としての辻には、そこを通る人の道中や村の安全を祈願して石仏が建てられました。この地蔵像もその一つと考えられ、当時の信仰の様子をうかがうことができます。